

顧客体験の創造を セキュアな環境で効率的に

■ HAKUHODO ■ i-studio

Creative Cloud エンタープライズ版と Gluegent Gateの構成なら
クライアントにも安全性を納得してもらいやすいと考えています。

株式会社 博報堂アイ・スタジオ 経営管理部 副部長 野中 智也 氏

導入製品

- ・ Adobe Creative Cloud エンタープライズ版

導入メリット

Adobe XDのプロトタイプで 企画を素早く検証



企画の実現性をXDのプロトタイプで検証。
短期間で問題の把握と修正案を確認できた

非クリエイティブ職が デザインデータを修正できる



操作が容易なXDで作成したデザイン資料
は、簡単な修正にデザイナーの手間は不要

デザイン案をチームで共有、 早期に問題点を解決



XDのプロトタイプを共有しチーム内で
確認。詳細設計の前に問題点を発見

SSOとIPアドレス制限による セキュリティ



Creative Cloudエンタープライズ版
と Gluegent Gate 連携で実現

株式会社 博報堂アイ・スタジオ

博報堂D Yグループのデジタルクリエイティブ制作会社である株式会社 博報堂アイ・スタジオ。卓越した表現力と最先端の技術力で、企業のあらゆるデジタル接点におけるクリエイティブを制作しています。



株式会社 博報堂アイ・スタジオ
コミュニケーションデザインセンター
松山 倫太郎 氏

「ブランド創造」と「顧客創造」を両軸にクライアント企業に貢献するデジタルクリエイティブカンパニー、株式会社 博報堂アイ・スタジオではAdobe Creative Cloudエンタープライズ版を導入されました。顧客体験のデザインとそれに伴うUIデザインに、豊富なデザイン機能を持つPhotoshop/Illustratorや、プロトタイプを簡単に共有できるAdobe XDなどのツールが活用されています。また、Creative Cloudエンタープライズ版の特長である、シングルサインオン環境とIPアドレスによるアクセス制限が、グルージェント社のGluegent Gateとの連携で構築されました。ライセンス管理やユーザー管理の一元化、そしてクリエイティブ制作業務に欠かせないセキュアなクラウド環境の実現が、社内およびクライアントとのワークフローを効率化して、短期間で質の高いクリエイティブを提供する作業環境の構築に貢献しています。

■ 導入メリット①

Adobe XDのプロトタイプで企画を素早く検証

クライアントワークの現場では、数ヶ月スパンのプロジェクトが繰り返され、企画の検討に使える時間は限られています。そこではAdobe XDのプロトタイプ機能が欠かせない道具になると、コミュニケーションデザインセンターの松山 倫太郎氏は語ります。

「XDなら、エンジニアの手を借りなくてもデザインがそのままプロトタイプになります。そのため、提案内容を検証してみたい時に、実際に人がどう反応するのかを短期間で確認できます。ある画期的な提案をした案件では、その体験が成立するのか疑問の声が上がったのですが、XDを使ったことで、プロトタイプ制作から社内の十数名とのテストによる確認まで、1週間足らずで終わることができました」

テストへの参加者から具体的な問題点をその場で直接聞いたことは、行うべき修正内容と最終的に実現すべき体験を短期間で把握するのに大きく役立ったそうです。

また、テスト風景の録画は、クライアントやチームとのアイデア共有にも使われたということです。



株式会社 博報堂アイ・スタジオ
経営管理部 副部長
野中 智也 氏



株式会社 博報堂アイ・スタジオ
テクノロジー部 プログラマー/デザイナー
大坂 美保 氏

USER PROFILE

株式会社 博報堂アイ・スタジオ
<https://www.i-studio.co.jp>
 所在地：東京都千代田区有楽町1-10-1
 有楽町ビルディング
 設立：2000年6月30日
 資本金：2億6千万円
 従業員数：358名（2018年4月現在）
 事業内容：インタラクティブ領域におけるクリエイティブ、デジタルマーケティング・CRMのプランニング・制作・運用、およびシステム開発業務



製品情報

adobe.com/go/cce_jp



アドビ システムズ 株式会社
 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2
 ゲートシティ大崎イーストタワー
www.adobe.com/jp/
 Adobe Systems Incorporated
 345 Park Avenue
 San Jose, CA 95110-2704
 USA
www.adobe.com

■ 導入メリット②

非クリエイティブ職がデザインデータを修正

プランナーとして活躍する松山氏は、提案資料にXDを使うことにメリットを感じていると言います。

「検討中のストーリーの説明をする際、静止画をページごとに見るのではなく、実際に動く様子を確認できることについては、クライアントから良い評価をいただいています」

加えて、使い方の簡単なXDなら、ちょっとした修正をアカウント職の人（営業担当者）ができるのも利点だということです。社内のソフトウェアライセンスを管理する経営管理部の野中 智也氏もこの点については同意見で、アカウント職からの申請が増えていることを明かしてくれました。

「従来、アドビ製品はクリエイティブ系の方が主に使われていたのですが、最近はそれ以外の方からXDを使いたいという申請が増えています。どうやら、これまでは『デザインデータの修正を頼むのは申し訳ないけど、でも...』とアカウント職の方が気にしていたようなのです。デザイナーを探して連絡する手間がなくなって仕事が効率的になりますし、これからも利用者は増えるんじゃないでしょうか」

■ 導入メリット③

デザイン案を共有し、早期に問題点を解決

同受託案件だけでなく、自社の新規事業プロジェクトでもXDは使われています。テクノロジー部アドバンストテクノロジーチームの大坂 美保氏は、担当するTREK TRACK*アプリの画面の確認にXDを使用したそうです。

「出来上がった後の修正には、工数が沢山かかります。そこで、Illustratorで画面設計をしてある程度イメージが固まった段階で、当時まだベータ版だったXDを使って、デザインの骨格、つまり大きなずれができたら困る部分を制作して、画面遷移をつけて共有しました。デザインを確定する前に、チーム全体で画面設計を共有して確認したいと思ったのです」

その結果、使い勝手の確認だけでなく、エンジニアからは、ナビの大きさが標準と違うため工数がかかるという指摘も得られたそうです。Photoshopでデザインを詰め始める前に判明して良かったとのことでした。

ベータ版を利用したことについて、大坂氏は「次のプロジェクトではより広い範囲で使えるかもしれないですね。製品の進化が速いので期待しています」と語っていました。

*博報堂アイ・スタジオが提供するIoTを活用した登山者位置情報サービス (<https://trektrack.jp>)



Adobe XDによるTREK TRACKアプリのプロトタイプ制作画面



TREK TRACKアプリトップ画面

■ 導入メリット④

シングルサインオンとIPアドレス制限によるセキュリティ

社外でもデータを利用したいというニーズとセキュリティの確保を両立するため、Adobe Creative Cloud エンタープライズ版と共に企業でのクラウドサービス導入を支援するGluegent Gate*のオプション機能を利用して連携させました。その理由を、野中氏は次のように説明しています。

「クラウドサービスを使うにはIDとパスワードが必要です。その際、サイトごとにパスワードの管理ポリシーが異なれば、ユーザーにとっても管理する側にも負担になります。アドビのクラウドとGluegent Gateの連携は、シングルサインオンを実現するために必要でした」

加えて、会社のセキュリティポリシーを満たすためにもこの組み合わせが必要だったそうです。

「弊社ではパスワード保護だけでは安全でないと考えています。万一IDとパスワードが洩れてしまった場合、そこからデータ漏洩が起こる可能性があるからです。Gluegent GateのIPアドレス制限と連携させて、特定の場所からのみデザインデータを使えるようにしています。これならクライアントにも安全性を納得してもらいやすいと考えています」

パッケージ版の頃は、アドビ製品はクリエイター職が主に使っていたが、クリエイティブクラウドに移行してからは、職種を超えてツールがインストールされ、皆がクラウド上の必要なデータにアクセスして使うようになったことが、一番の変化だろうというお話でした。より便利で、より効率的な働き方が認知されたことが、社内ユーザー数の増加につながっているようです。

*複数のクラウドサービスにおける統合ID管理、シングルサインオン、よりセキュアなアクセス制御を実現するクラウドSSOサービス (株式会社グルージェント：<https://www.gluegent.com/service/gate/>)

※掲載された情報は2018年7月現在のものです。

© 2018 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Adobe, the Adobe logo, Adobe Premiere, After Effects, Creative Cloud, the Creative Cloud logo, Illustrator, InDesign, and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. ASJST1540 7/18